



3年学年だより

発行日：令和5年1月31日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 9

“Only One” になるために

校長代理 富樫 哲一

南高等学校附属中学校では、校長代理が1年生の一人一人と面談をする機会があります。これは開校以来続いており、本校の伝統の一つとなっています。目的としては、校長代理との面談をとおして、生徒一人一人が自分が受け入れられているという実感をもってもらうため、別の言い方をすれば、生徒が安全・安心できる環境を作るための教育活動の一つとして行っているものです。

12月から始まって現在も続いているのですが、管理職となってからは、生徒と1対1で話す機会がなかなかないため、面談が行われる日の昼休みや放課後をいつも待ち遠しく思っています。

さらに今年度は校長代理面談に加えて、学年の先生方と相談して1年生の4クラスで特別講座としてもう少し話す機会をもらいました。自己紹介を含めて1クラス20分ほどの短い時間ではありましたが、10数年ぶりの「授業」ということで少し緊張してしまいましたが、生徒の皆さんに助けをもらいながら、何とか無事に終わることができました。助けてくれた1年生の皆さん、どうもありがとう！

さて、今回の学年だよりでは、1年生に行った特別講座の内容を2年生や3年生にも伝えたいと思います。1年生の皆さんは、復習のつもりで読んでもらえたらと思います。

今回の講座で伝えなかったことは、「“Only One” になるためにはどうしたらよいか」ということです。私は、世間では「“No.1” を目指すのではなく、“Only One” を目指そう！」とよく言われるのですが、では実際にはどうすればよいかということ具体的に教えてくれることがないような気が普段からしていました。

私が1年生の皆さんに提案したのは、「色んなことにチャレンジして様々な経験を積んだり、知識を増やすことで、“Only One” を目指してはどうか」ということです。例えば、保育士という仕事について考えてみると、保育士としての仕事ができることに加えて、英語を書いたり話したりすることができれば、外国人の方のお子さんを保育することも可能になったり、海外で保育士の仕事をする可能性も生まれます。さらに、会計や法律の知識もあれば、将来的には自分の保育園を経営することだってできるかもしれません。式にすると、

$$(\text{保育士}) = (\text{保育の知識や経験}) \times (\text{英語}) \times (\text{会計}) \times (\text{法律}) \times \dots$$

ということになるのでしょうか。このかけ算の項が増えるたびに、自分の希少性が高まることは間違いありません。つまり、“Only One” にどんどん近づくことができると考えることができるのではないのでしょうか。

もちろん、皆さんが何かの分野で No.1 を目指そうとすることを否定するものではありません。この話を、皆さんのこれからの生き方の一つのサンプルとして考えてもらえたらうれしいです。

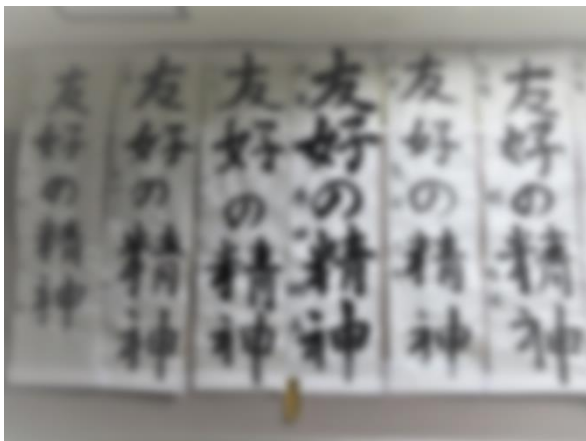
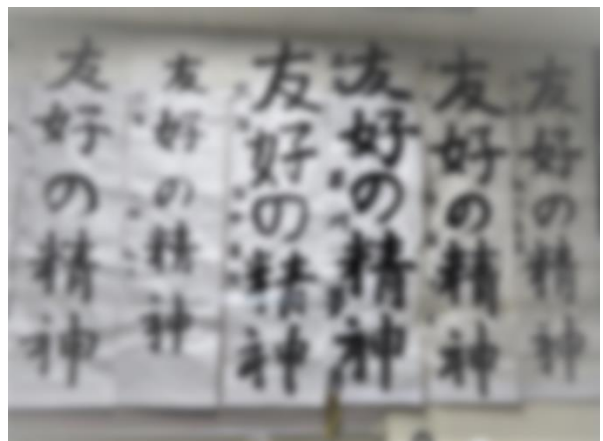
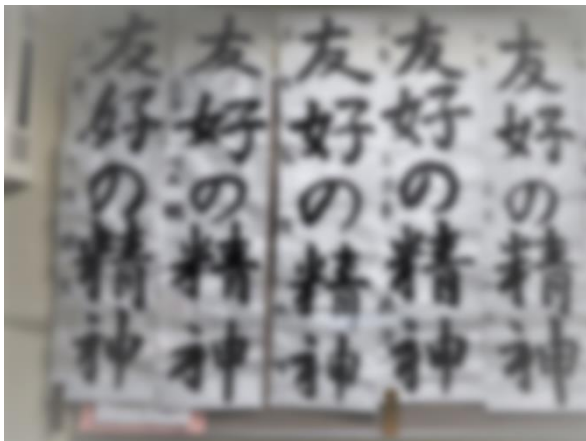
校内書き初め大会

1月10日(火)から、国語科の冬休みの課題である書き初めが各クラスで掲示されました。3年生の書き初めはどれも力強い字の作品ばかりでした。高校で書道の選択をしない限りは、人生で最後の書き初めになる人もいると思います。しかし、これからも新年の抱負などを書き初めで書いて、気持ちを落ち着ける機会をつくってほしいと思いました。各クラスの金賞は以下の通りです。

学校代表として、3組の■■■■さんの作品が、横浜市学校総合文化祭「中学校書写展」に出品され、1月18日(水)から22日(日)まで横浜市民ギャラリーに展示されました。

☆金賞受賞者☆

1組	2組	3組	4組
■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん
■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん
■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん
■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん
■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん	■■■■さん



大学レポート報告会

1月17日(火)に夏休みの課題で取り組んだ大学調べについて、グループに分かれて報告会を行いました。1年生では【未来の自分について考える。】、2年生では【職業について考える。】、3年生では【進路について考える。】と、3年間を通して進路学習を行ってきました。高校受験を経験することのない生徒が多い中、さらに先を見据えた大学進学イメージを膨らませていきました。報告会を通して、高校生活をどのように過ごしていくのか、具体的な目標を立てて高校生になってほしいと思います。以下、生徒たちの進路学習の振り返りをいくつか載せました。

進路学習の振り返り

○1年生の頃から次第に現実的になっていった進路学習で、未来のことを考える度に目の前のことを頑張ろうと思えました。気持ちが前向きでないときは未来のことを考えていきたいと思えました。

○附属中に入学したことで、高校入試のことを意識しなくてよかったため、中だるみはあった一方で、人生の先を見通し、学生時代にしておくべきことについて深く考えることができた時間になったと思う。

○まだ大学について知らないことも多いけど、もうあつという間に大学選びをしなくちゃいけないと思うと、自分は何を将来したいのかちゃんと決めないといけないと思った。

○大学の学部、学科を調べるとたくさん出てきて、選択肢の多さに驚いた。施設や学校の評判の前に、自分のやりたいことができる大学に行きたいと思っていたけれど、まだ将来の想像ができなくて不安になった。

○3年間を通して小学校の時より将来を考えられるようになったと思います。まだ、興味のある職業がたくさんあり、決めきれではないし、決めないでいたいと思います。ただ、大学を決めるにあたって、職業はたくさん調べ、それにまつわる専門的なことが学べる大学を選べたらいいなと思いました。

○1年生のときにつくったキャリアライフプランニングを見て、2年間で考え方が大きく変わったことに気がついた。今やりたいと思っていることも、時を重ねると興味がなくなる可能性もある。しかし、将来について考えることで自分の選択肢が広がり、人生が豊かになるかもしれない。今は良い大学に入学することを目標にしているが、それだけに固執して可能性を狭めることをせず、自由に生きたい。

○自分の得意分野をまだ把握できていないので、どこの大学だったら一番能力を発揮できるのか、将来どんな仕事に就きたいか、曖昧な部分も多いので、高校に入学するまでの間に自分の得意分野を把握しておきたいと思えました。一生のうちで大事になってくる選択なので、慎重に検討しつつ、チャレンジする大胆さも大切にしていきたいです。

○段々と自分の特性や目標がわかってきたので、自分を変えていく!という道もいだけれど、自分をいかす!という選択を考えるのも大切だなと感じるようになった。

睦月の福袋

1月26日木曜日、それは卒業論文提出の日でした。前日の25日の夜はどんな気持ちだったでしょうか? 「完成! やった~!」「あと少し、でもその少しがなかなか…」 「もっと前から始めていれば…」 「頑張れ! 自分!」この気持ちこそ、未来の自分への大きな収穫です。みんな、よくがんばりました!